

平成31年度予算

一般会計

923億9,500万円

特別会計

446億9,115万円

一般会計予算
10,000 円のゆくえ

 防災対策、地域振興、戸籍、住民基本台帳、選挙など総務費 **1,583 円**

 福祉の充実のために **5,069 円**

 健康を守るために **467 円**

 きれいなまち、良好な環境を推進するために **483 円**

 中小企業対策など商工業の振興に **91 円**

 住宅、道路、公園の整備等まちづくりの推進に **917 円**

 教育の充実、文化、スポーツの振興に **1,076 円**

 区議会の運営経費に **83 円**

 特別区債の償還に **193 円**

 財政調整基金積立金等 **16 円**

 予備費 **22 円**

合計 **10,000 円**



かがやく渋谷

自由民主党議員団区政報告特集 第88号

平成三十一年度当初予算が可決成立しました

自民党議員団が皆さまの要望を実現!!

平成三十一年度新規施策

平成三十一年度渋谷区一般会計当初予算は、少子高齢化対策や公共施設・インフラの老朽化対応等に伴う今後の歳出圧力の高まりに備え、中長期にわたる施策展開を支える強固な財政基盤を構築するための予算として923億9千5百万円を計上、対前年度比1.5%の減となっております。

兼ねてから注力している本町地区の防災まちづくりとして、これまで取り組んできた木造住宅密集地域の解消に向けてのまちづくりに加えて、環境や地域コミュニティにも配慮した街の総合的な「防災都市づくりグランドデザイン」を検討・策定し、よりスピード感を持って地域の防災能力を向上させるための取り組みを進めていきます。

また喫緊の課題である待機児童対策では、保育施設6園を開設し、定員を436人増員いたします。引き続き多様な手法を用いて早期に待機児童ゼロを目指します。福祉施策としては、今定例会にて「渋谷生涯活躍ネットワーク・シブカツ条例」が

制定されました。55歳以上から元気なシニア世代に向けて、ニーズの高い情報を発信し、学び、働きによる社会参加等の機会を提供する社会・地域・人との繋がりを育む拠点となるセンターを設置していきます。

渋谷区議会自民党議員団は引続き最大党派として、区民の皆さまの安全・安心に全力で努めてまいります。

待機児童解消を早期に実現するため、新たに保育施設6園の整備を進め、436人の定員拡大を図ります。

区民や来街者の安全・安心のため、防犯カメラを更に415台増設するとともに、監視を周知し、犯罪抑止力の向上を図ります。

東京2020大会に向けて渋谷駅周辺地区・原宿駅・千駄ヶ谷駅周辺に、わかりやすい公共サインを整備します。

渋谷ヒカリエ8階に55歳以上から元気なシニア世代に向けて、学び、働きによる社会参加等の機会を提供する拠点となるセンターを設置します。

商店街の更なる活性化を促進するため、キャッシュレス決済導入促進事業をスタートし、導入に係る経費や、決済端末の操作、活用方法などフォローアップを行います。

本町地区の防災まちづくりとして「防災都市づくりグランドデザイン」を検討・策定し、防災能力の向上を進めていきます。

